

「標準放射線医学」第5版

東京都立医療技術短期大学学長 有水 昇 監修
金沢大学教授 高島 力
九州大学教授 増田 康治 編集
東京大学教授 佐々木康人

昭和大学教授・放射線医学

宗 近 宏 次

放射線医学には各種の画像診断、interventional radiology、核医学、放射線治療の4部門が含まれる。これらの部門のどれをとってもそれぞれ技術の進歩は目覚しく、また、どの部門においてもすべての診療科の医療に直接関連している。このように近代医療の最先端をゆく放射線医学の広範な分野を網羅して、必要かつ十分な内容に整理しまとめた教科書として、この標準放射線医学第5版は他に類をみない。ぜひこの1冊を医学生には放射線医学の自習用に持ってもらいたい。

本書では医師国家試験のガイドラインに沿った形で放射線診断の内容が構成されている。画像診断の各論においては、まず各臓器の疾患で用いられる通常の画像検査法について、使用頻度の順に解説され、更に

異常所見別に病気診断の過程における画像診断を念頭に置いて編集されている。しかも各項目ごとに各疾患の画像所見の特徴を“疾患別異常所見のまとめ”として、一覧表にしている。重要な画像所見は写真の説明に加えてシェーマで解説され、医学生に必須の基本的事項と臨床的事項の両者が同時に理解しやすく配慮されている。またinterventional radiologyに関する最新情報が各治療法ごとに加えられている。

放射線治療もまた、医師国家試験ガイドラインに沿った形で構成されている。各臓器の腫瘍病期分類には最新のTNM分類が用いられ、腫瘍治療の実際に即して臨床腫瘍学が理解しやすいように整理されている。また放射線障害の防護と管理についてもわかりやすくまとめられ、更に

超音波と磁気の安全性についての項目も加えられている。本書の終わりには、画像所見のサインが索引の形でまとめられ、また和文、欧文ともに索引の用語数は豊富で利用しやすいものになっている。

1982年に第1版が出版されて以来、版を重ねるごとに放射線医学の新しい知識技術を取り入れ、装いを新たに今回第5版が出版された。この改訂にあたり、新たに16名の執筆者が加わり内容が更に充実している。わが国にも本書のようなすばらしい放射線医学の教科書があること誇りに思う。

● B5 頁 896 図 447 写真 1,537
表 159 1996 定価 10,300 円(税込)
〒520

医学書院 刊 (☎ 03-3817-5657)